

令和5年度県税収入の状況

R5年度決算額の税目別の増減要因等（R4年度決算額との比較）

1) 個人県民税

R5決算：329.2億円（対前年度 +19.0億円 +6.1%） ← R4決算：310.2億円

◎ 県民税（均等割・所得割）

R5決算：305.8億円（対前年度 +12.3億円 +4.2%） ← R4決算：293.5億円

・個人所得の増による増収。

調定額（現年分）R5：306.4億円 ← R4：293.5億円

◎ 県民税配当割

R5決算：10.9億円（対前年度 +1.9億円 +21.5%） ← R4決算：8.9億円

・上場株式等の配当等の増による増収。

◎ 県民税株式等譲渡所得割

R5決算：12.5億円（対前年度 +4.8億円 +61.4%） ← R4決算：7.8億円

・上場株式等の譲渡所得の増による増収。

2) 県民税利子割

R5決算：0.6億円（対前年度 △0.1億円 △10.2%） ← R4決算：0.7億円

・利子等の支払額の減による減収。

3) 個人事業税

R5決算：12.8億円（対前年度 +0.7億円 +5.8%） ← R4決算：12.1億円

・課税対象となるR4事業所得の増による増収。

4) 法人二税

R5決算：321.0億円（対前年度 △8.7億円 △2.7%） ← R4決算：329.7億円

・一部法人の企業業績の悪化等による減収。8億7千4百万円の減収。

◎ 法人県民税

R5決算：28.5億円（対前年度 △3.0億円 △9.6%） ← R4決算：31.6億円

◎ 法人事業税

R5決算：292.4億円（対前年度 △5.7億円 △1.9%） ← R4決算：298.2億円

◎ 法人二税（法人県民税＋法人事業税）の主な業種別調定額の状況

※ 調定額（現年課税分）ベースで、均等割を除く。

（単位：百万円、%）

業種	調定額	伸率	対前年増減額
農林水産業	104	+26.6	+22
鉱業	1	△47.6	△1
建設業	2,383	+14.3	+297
製造業	13,619	△7.7	△1,132
電気機械	2,173	△37.2	△1,290
金属製品	622	△25.2	△209
精密機械	4,641	±0	△1
一般機械	780	△31.8	△364
その他製造	5,403	+15.7	+732
卸・小売業	3,926	△1.4	△55
金融・保険業	2,404	△7.8	△204
不動産業	674	+32.8	+167
運輸・通信業	1,278	+26.2	+265
電気・ガス供給業	876	△6.0	△55
サービス業	5,365	△1.8	△98
その他	204	△22.2	△58
計	30,834	△2.7	△854

5) 地方消費税

R5 決算：100.2 億円（対前年度 △20.7 億円 △17.1%） ← R4 決算：120.9 億円
 ・還付税額の増による減収。

《内訳》

- ・譲渡割 R5 決算：99.9 億円（対前年度 △19.7 億円 △16.5%）
 （国内取引に係る地方消費税） ← R4 決算：119.7 億円
- ・貨物割 R5 決算：0.3 億円（対前年度 △0.9 億円 △78.9%）
 （輸入取引に係る地方消費税） ← R4 決算：1.2 億円

《参考》都道府県間の清算後の収入額

・R5 決算：426.4 億円（+7.4 億円 +1.8%） ← R4 決算：419.0 億円

6) 不動産取得税

R5 決算：18.4 億円（対前年度 +1.1 億円 +6.6%） ← R4 決算：17.2 億円
 ・大型課税物件の増による増収。

課税件数 R5：14,092 件（対前年度 △748 件 △5.0%） ← R4：14,840 件
 大型課税物件（税額1,000万円以上）

R5：18件 4.2 億円（対前年度 +7件 +9.5%） ← R4：11件 3.8 億円

課税免除額

R5：4件 1.1 億円（対前年度 ±0件 △63.6%） ← R4：4件 1.8 億円

7) 県たばこ税

R5 決算：10.5 億円（対前年度 +0.1 億円 +0.7%） ← R4 決算：10.4 億円

・たばこの売り渡し本数の増による増収。

売渡本数 R5：9 億 7748 万本（対前年度 +636 万本 +0.7%） ← R4：9 億 7112 万本

8) ゴルフ場利用税

R5 決算：8.0 億円（対前年度 Δ 0.1 億円 Δ 1.8%） ← R4 決算：8.1 億円

・課税利用人数の減少による減収。

R5：1,363,929 人（対前年度 Δ 28,263 人 Δ 2.0%） ← R4：1,392,192 人

9) 自動車税種別割

R5 決算：128.0 億円（対前年度 Δ 0.6 億円 Δ 0.4%） ← R4 決算：128.6 億円

・軽課対象車両の増加による減収。

10) 自動車税環境性能割

R5 決算：9.1 億円（対前年度 +0.9 億円 +11.0%） ← R4 決算：8.2 億円

・税率区分の見直し（R6.1.1 以降燃費基準の厳格化）に伴う増収。

1 台当たり課税額 R5：81,778 円（対前年度 +7,760 円） ← R4：74,018 円

11) 軽油引取税

R5 決算：69.0 億円（対前年度 Δ 0.9 億円 Δ 1.3%） ← R4 決算：69.9 億円

・軽油需要の減による減収。

《課税対象軽油引取量》

R5：214,952 キロリットル（対前年度 Δ 2,859 キロリットル Δ 1.3%） ← R4：217,811 キロリットル

12) その他の税

◎ 旧法による自動車税

R5 決算：173 万円（対前年度 Δ 409 万円 Δ 70.3%） ← R4 決算：582 万円

◎ 旧法による自動車取得税

R5 決算：3,275 万円（対前年度 +2,284 万円 +230.3%） ← R4 決算：991 万円

◎ 狩猟税

R5 決算：1,075 万円（対前年度 Δ 72 万円 Δ 6.3%） ← R4 決算：1,148 万円

◎ 鉾区税

R5 決算：22 万円（対前年度 +11 万円 +95.0%） ← R4 決算：11 万円

令和5年度県税 徴収率の状況

徴収率（課税された税額に対して、実際に納められた税額の割合）

R5 決算：99.2%（対前年度 △0.1 ポイント） ← R4 決算：99.3%

◎ 徴収率 (単位：%)

	山 梨 県			全国平均		
	R5	R4	増減	R5	R4	増減
現年分	99.7	99.7	±0.0	99.6	99.6	±0.0
滞納繰越分	35.7	36.3	△0.6	39.9	39.2	+0.7
計	99.2	99.3	△0.1	99.1	99.1	±0.0

- ・ 徴収率（現・滞）は、市町村との連携による個人県民税徴収対策の強化等に務めたものの、地方消費税収の減収等により、99.2%と昨年度を0.1ポイント下回った。
- ・ 全国順位は、現年分については、5位順位を下げて15位。滞繰分については4位順位を下げて26位、全体では3位順位を下げて10位となった。

※ 差押実施状況（件数は、地方税法第20条の4及び第739条の5に係るものを除く。）

令和元年度	968件
令和2年度	1,185件
令和3年度	1,463件
令和4年度	1,671件
令和5年度	1,587件

令和5年度県税 不納欠損の状況

不納欠損額（法令の規定に基づく消滅時効、執行停止による債権の消滅等となった額）

R5 決算：5,262万円（対前年度 △1,444万円 △21.5%） ← R4 決算：6,707万円

	R5	R4	増 減	伸 率
個人県民税 （所得割・均等割）	3,907万円	5,806万円	△1,899万円	△32.7%
上記以外の県税	1,355万円	901万円	+455万円	+50.5%
計	5,262万円	6,707万円	△1,444万円	△21.5%

※ 不納欠損の具体例

財産調査を行った結果、滞納処分可能な財産がない等の理由で滞納処分の執行が停止されたが、その後3年間資力が回復しない場合等。

令和5年度県税 滞納繰越額の状況

滞納繰越額（令和6年度へ繰り越される額）

R5決算：7億961万円（対前年度 +1,807万円 +2.6%）

← R4決算：6億9,154万円

- ・ 個人県民税については、徴収率は昨年度を0.1ポイント上回ったものの、令和5年度の調定額が大幅に増加（対前年度+12億4千万円）したことにより、滞納繰越額は対前年度比+5.6%、+2千8百万円となった。
- ・ 個人県民税以外の県税については、総合県税事務所の徴収努力により、旧法による自動車税や不動産取得税の滞納繰越額が減少したことで、対前年度比△5.3%、△1千万円となった。

◎ 滞納繰越額

	R5	R4	増減	伸率
個人県民税 (均等割・所得割)	5億3,144万円	5億0,345万円	+2,798万円	+5.6%
上記以外の県税	1億7,817万円	1億8,809万円	△991万円	△5.3%
計	7億0,961万円	6億9,154万円	+1,807万円	+2.6%